

2018年度 交換留学報告書

留学先大学	ガジャマダ大学 Gadjah Mada University	留学先国・都市	インドネシア ジョグジャカルタ特別州		
留学期間	2018 年 1 月 ~ 2019 年 1 月				
学部・研究科	経済学部・経済学科	留学開始時の学年	2年生	帰国時の学年	3年生
留学先学部	Faculty of Social and Political Science/ Department of International Relation				

1. 出発準備について

I. ビザ取得

- (1) 取得に要した日数 約 50 日 (2) 面接の有無 有 無
 (3) ビザの種類 Limited stay ビザ
 (4) 取得時期 出発3日ほど前

(5) 簡単な申請方法(必要書類等)と、困ったこと・気を付けた方がいい事など

必要書類はパスポートの原本と3枚のコピー、「赤い背景」の証明写真
 赤い背景の証明写真は証明写真撮影機(駅にあるようなもの)で赤い背景を選択すると撮れます。本ビザを取る前の電子ビザの取得に担当教員からの推薦状、英語の健康診断書、履歴書、成績証明書などが必要で、文書で事細かに指示を受けます。インドネシアに到着後さらに現地滞在ビザの取得が必要。(KITASやITASと呼ばれるもの。)

II. 航空券

- (1) 往路 直行便 乗継 羽田 空港発 クアラルンプール国際 空港 経由
アジステプト国際 空港 着
- (2) 復路 直行便 乗継 アジステプト国際 空港 発 クアラルンプール国際 空港 経由
羽田 空港 着
- (3) 利用航空会社 往路 : エアアジア・エアアジアX 航空
 復路 : エアアジア・エアアジアX 航空
 FIX (日程変更不可) OPEN (日程変更可) FIX/OPEN 片道 その他
- (4) 航空券の種類 旅行代理店窓口 インターネット
- (5) 購入方法 その他 (サイト名: エアアジア公式アプリ)
 (_____)

2. 到着後の手続きについて

I. 空港から大学までの移動

- (1) 移動手段 大学手配の出迎え 電車 バス タクシー 知人の出迎え
 その他 (_____)
- (2) 所要時間 約 _____ 時間 30 分

II. 到着後の手続き

- (1) オリエンテーション 有 無 (_____)
- (2) 滞在許可申請 有 無 (KITAS/ITAS)
- (3) 留学生向け語学研修 有 無 (学期前 学期中) 期間: _____
- (4) その他手続き (指紋登録)

3.生活について

I.住居

- (1)住居の種類 寮 (寮名: _____)
 アパート ホームステイ その他 (ホテルとアパートの中間といった感じ)
- (2)シェア人数 0 人 (3)共有部分 バス トイレ キッチン (4)自炊 可 不可
(自分は除く)
- (5)大学までの交通手段と所要時間 (6)個室の有無 有 無
 徒歩 バス・電車 自転車 バイクタクシー5 分
- (7)住居申込方法 (直接出向く)
- (8)住居について困った事やアドバイス及びビルूमメイトについて(国籍や良かったこと、困った事)
日本人が住居選びで大事にすること、インドネシア人が大事にすることは違うので、居心地のいい住居を選ぶまで日数を要します。おすすめは“Oasis Studio”か“Graha Pastika”

II.食事

- (1)毎日の食事についてあてはまるもの全てに✓
 自炊 寮食 大学内学食 外食 その他 (_____)
- (2)ミールプラン 有 無 月額(現地通貨 _____ (日本円約 _____ 円)
平日【 朝 昼 夜 】 週末【 朝 昼 夜 】
- (3)最寄りのスーパーやマーケットまでの所要時間
 徒歩 バス・電車 自転車 2 分
- (4)食事について困った事やアドバイス
自分はおなか弱いので、最初の方はワルンやブルジョと呼ばれる屋台では必ずと言っていいほどおなかを壊しました。インドネシアの衛生面はWHOから勧告を受けるほどなので気を付けないといけません。また基本的にインドネシア人はほとんど野菜を取らないのできれいな野菜を見つけるのは容易でないです。観光客向けのきれいなレストランも多くあるため、そういったところで取ることを勧めます。おすすめは“Mediterranea Restaurant”, “Café NO.27”, “Sate Bar”, “Rempah Asia”, “Indochine Bistro”, “Warung Makan Lezat Medan”など

III.インターネット環境

- (1)住居 有 無
- (2)キャンパス 有 無 (キャンパス全体 接続スポット)
- (3)個人契約 有 無
ある場合は契約内容について(契約会社、契約方法など)
契約というより、ポケットWi-FiにスマホのSIMカード(ほぼどこでも購入可)を差し込めばどこでもインターネットが利用できます。
- (3)外出先でのインターネット利用 有 無
ある場合はその利用方法について(カフェやお店の無料Wi-Fiなど)
ほとんどのカフェにWi-Fiが完備されています。
- (4)携帯電話利用について 日本の携帯を持参 現地購入 使用していない
その利用方法について(契約会社、契約方法、費用など)
日本で購入したスマホの場合はSIMロック解除の手続きを行わないと海外では利用できません。SIMロック解除をしたスマホであれば屋台などでも購入可能なSIMカードを挿入すればすぐに利用可能です。おすすめの会社は“Telkomsel”か“Smartfren”です

4. 留学先大学について

I. 大学の周辺地域

(1) 治安 良い 普通 あまり良くない 悪い

注意すべき点

お金をあまり見せびらかさないこと、リュックを背負う事

(2) 交通の利便性 良い 普通 良くない

(3) 主な交通手段 電車・地下鉄 バス・トラム 自動車 その他 (バイクタクシー)

(4) 都市部 (繁華街) までの所要時間 15 分 (交通手段 バイクタクシー)

(5) 交通手段に関して注意すべきことやアドバイス

バスなどの公共交通手段を使う人はほとんどいません。インドネシアはバイクの世界なので、ほぼすべての人がバイクで移動しています。歩道も整備されていないので歩く方が危険です。GojekやGrabというタクシーのアプリで自分のいるところまで来てもらい、目的地まで移動することになると思います。またGojekやGrabでは車のタクシーも呼ぶことができるので、大人数での移動の時や雨が降っているときはそちらを使います。値段はバイクであれば体感として10分40円ほど、車であれば10分80円ほどです。アプリにお金をチャージ(ATMやドライバーに直接頼む)してオンラインでの支払いができるので便利です。

(6) よく利用した買い物やレジャー、医療機関など周辺施設について

やはりおなかを壊すことが多いので良い病院は覚えておいた方がいいです。“Siloam Hospitals Yogyakarta”がおすすめです。キャッシュレスの手配もスムーズです。次点で“RS JIH”ですが、待ち時間が長すぎて退屈します。

II. 授業

(1) 履修登録の時期・方法 出発前 出発後 派遣先大学国際室 オンライン メール等
 その他 (_____)

(2) 履修の制限

5, 6科目受講可

(3) 授業・履修登録で困ったことやアドバイス

私が留学していた時は履修登録後のキャンセルができない時期とできる時期がありました。担当者に確認することをお勧めします。

(4) 語学研修(学期前・学期中)を受けていれば、期間・内容・費用について

--

(4) 履修科目 ※記入欄が不足する場合は追加してください

	科目名	授業の言語	出席人数	単位数
1	科目名	Indonesian Social and Political History		
	授業内容	インドネシアの社会や政治の歴史に関する講義です。	英語	約 30 名 3 単位
2	科目名	Economic Cooperation in ASEAN		
	授業内容	ASEANが経済連携をどのように深めてきたか、域外国とどのような関係を持っているかを学ぶ講義です。	英語	約 20 名 3 単位
3	科目名	International Political Economy		
	授業内容	その名の通り国際政治経済について広く深く学ぶ講義です。	英語	約 40 名 3 単位
4	科目名	Religious Studies		
	授業内容	インドネシアを中心とし、様々な国や地域の宗教について理解を深める講義です。	英語	約 30 名 2 単位
5	科目名	Security Cooperation in ASEAN		
	授業内容	ASEANが直面する安全保障に関する問題を学び、解決策を考察する講義です。	英語	約 40 名 3 単位
6	科目名	Transnationalism in World Politics		
	授業内容	従来の世界政治の捉え方であるリアリズムやリベラリズムに台頭して近年広まっているトランスナショナルリズムという考え方について学ぶ講義です。	英語	約 30 名 3 単位

(5)履修して良かった科目 ※記入欄が不足する場合は追加してください。

科目名	
理由	
詳細 (課題、試験等)	
科目名	
理由	
詳細 (課題、試験等)	
科目名	
理由	
詳細 (課題、試験等)	

Ⅲ.課外活動

- (1)課外活動への参加 有 無
 (2)イベントへの参加 有 無

有る場合はクラブ名、イベント名と活動内容を記入

個人的に行っていたことが多かったですが、持続的に進めていたのはビデオカメラを使った映像資料の収集と日本語を教えるボランティアです。

Ⅳ.施設・設備

- (1)学食・カフェテリア 有 無 _____ 箇所
 (2)スポーツ関連施設 有 無 具体的に (スポーツジムがありますが、行ったことはないです。)
 (3)ライティング・センター等履修サポートサービス 有 無
 (4)その他お勧めの施設・設備

- (5)現地学生との交流機会 満足 やや満足 やや不満 不満
 そう感じた理由を教えてください。

日本に興味のある学生、あこがれを持っている学生は多いため、たくさんの現地人と友達になる機会がありますが、金銭感覚の違いは想像よりも大変なものでした。特衛生面に気を付けたい、あるいはおなかが強くない方は友達に勧められた場所などで食事のストレスになっていくことはあるかもしれません。

Ⅴ.お金の管理

- (1)お金の管理方法 現地銀行口座 インターナショナルカード(国際キャッシュカード) クレジットカード
 海外専用プリペイドカード(キャッシュパスポート等) 現金
 その他 (_____)

不便だったこと・お勧め方法等アドバイス

前述したように、現地の人と我々の金銭感覚は大きく異なります。そのため、自分が月にいくら使うか、奨学金でどれくらい支給されているかなどを簡単に友人に話すことは、その人との今後の関係につながることもありますので慎重にした方がよいと思います。

5.費用について

I.留学にかかる費用

	内容詳細	期間(ヶ月)	月額	総額(円)	支払方法
渡航準備	往復航空券・燃油サーチャージ・空港使用料	-	-	¥ 90,000	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
	海外留学保険	-	-	¥ 110,000	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
	現地保険	-	-	¥ -	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
	ビザ申請料	-	-	¥ 12,000	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
	語学研修代		-	¥ -	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
	その他(予防注射)	-	-	¥ 70,000	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
現地費用	宿舍費(月額)	12ヶ月	¥24,000	¥ 288,000	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
	光熱水費(月額)		¥0	¥ -	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
	食費(平均月額)	12ヶ月	¥30,000	¥ 360,000	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
	携帯料金(月額)	12ヶ月	¥1,000	¥ 12,000	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
	インターネット料金(月額)		¥0	¥ -	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
	交通費(平均月額)	12ヶ月	¥5,000	¥ 60,000	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
	テキスト代、研究費用、学用品(総額)	-	-	¥ 10,000	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
	日用品(平均月額)	12ヶ月	¥2,000	¥ 24,000	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
	娯楽費(平均月額)	12ヶ月	¥10,000	¥ 120,000	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
	旅行(総額)	-	-	¥ 50,000	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
	Registration/Administration Feeなど 留学先支払手数料(総額)	-	-	¥ 30,000	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
	その他(ビデオカメラ購入)			¥ 30,000	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
	その他(スマホ購入)			¥ 35,000	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
	合計				¥ 1,301,000

II.奨学金について

奨学金名	期間(ヶ月)		月額(もしくは総額)	申請方法
トビタテ! 留学JAPAN	12ヶ月間	<input checked="" type="checkbox"/> 月額 <input type="checkbox"/> 総額	¥120,000	国際室
		<input type="checkbox"/> 月額 <input type="checkbox"/> 総額		
		<input type="checkbox"/> 月額 <input type="checkbox"/> 総額		

6. 留学全般について

I. 留学先

(1)なぜ、そしていつ頃留学を決めましたか？

高校生の頃からASEAN諸国やイスラームに関心があったため、そういった地域に渡航したいと考えていました。

(2)留学先大学を決めるにあたり、参考にしたものを教えてください(例:大学HP、先輩の話、国際室の資料等)

インドネシアでの提携校は一つなので、決断の段階で調べ物をたくさんしたということはありません。

(3)なぜ最終的にこの国、この大学に決めましたか？

同国がかなりのスピードで経済発展をしているという点、あらゆる文化や人種が存在する点、日本との歴史的、経済的なつながりが強い点を考慮して選びました。大学としても、インドネシア最高峰の国立大学ということで、安心して決めることができました。

(4)留学先としてこの大学をお勧めするポイントをあげてください

「英語圏に行った方が英語が伸びそう」と考える学生さんも多いですが、同大学の学生は英語圏のネイティブと同程度の英語レベルで我々が授業についていけないレベルです。語学という点でしっかり頑張れば、英語、さらにインドネシア語も身に着けることができ、一石二鳥だと思います。

II. まとめ

留学を通して学んだこと、大変だったこと、留学希望者へのアドバイスなど自由に記述。

上記のアンケートで書ききれなかったことなど、たくさん記載してください。

写真などを貼って頂いても結構です。

「留学で見識を広げたい、新しい世界を知りたい」といった知的好奇心がある方は選ばなくては損、というくらいに驚くこと、悩むこと、楽しいことがたくさん存在する場所です。「東南アジアって〇〇なかんじだよな～」というイメージや、書籍やメディアから得る情報と、実際に目で見ると東南アジアは大きく異なると思います。また、最初はそういった驚きの連続であるにもかかわらず、帰るころにはそれが当たり前になり、むしろ退屈に思える自分に対し、一定の成長を感じます。具体的に、私が「想像していたインドネシア」のはるか上をゆくインドネシアを目の当たりにしたことは多くあります。まず、道に歩道はありません。外で英語は通じません。家族での休日のお出かけが一台のバイク、という現象もよく見かけます。私が暮らしていたジョグジャカルタの一人当たりの平均月収は14000円なので日本のおよそ20分の1でありながら、物価は日本の5分の1。我々が「やすいご飯だな」と食べるものは現地の一般的な人からするととても高いのです。しかしながら、日本と同じくらいの値段がするラーメン屋さんや寿司屋さん、ショッピングモールはいつも大人気で、お金がどうまわっているのか想像できませんが、それだけ貧富の差が激しいということです。道にはバイクや車を横目に屋台が並んでおり、猛暑の中生野菜や肉をずっと放置されています。信号の前には物売りが20人ほどおり、朝の4時にはスピーカーから爆音でアラビア語が鳴り響きます。「友人」という概念が日本でのそれと異なるのも確かで、前述のとおり1回会えばもう友人なので、おのずと友達は増えますし、みんな暖かく接してくれます。そしてこの1年間で、私はインドネシア人が好きになりました。1年間支えてくれた友人たちには恩返しをしたいですし、強いつながりを感じています。彼らがいなければ留学はもっと困難なものになっていたと想像します。私はどちらかというと頑固で、あまり自分の考えや意見を曲げないタイプの人間でした。しかし帰ってきた今、この1年間の自分の言動を振り返ってみると、次第に謙虚になっていっていると感じますし、生まれ育った国である日本に対する当たり前の捉え方も大きく変化しました。少なくとも留学していた1年は自分の誇りであり、将来への自信です。